

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年2月1日
作成担当部署 諸塚村総務課

2 第三セクター等の概要

法人名 有限会社エバーグリーン
代表者名 取締役 藤崎 猪一郎
所在地 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2653番地
設立年月日 平成13年3月22日
資本金 3,000千円【当該地方公共団体の出資額(出資割合)3,000千円(100%)】
業務内容 村内の道路の管理及び補修業務、保育業務、農産品の販売業務、公立機関の調理業務等

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方団体の関与

有限会社エバーグリーン（以下、エバーグリーン）は、村民の生活及び福祉に寄与する各種業務を受託することにより運営を行っており、設立以来、第三セクターとして村づくりの一躍を担ってきた。これまでは、債務超過もなく経営されてきた。しかし、平成29年度において職員採用の急増等により債務超過に陥ったものである。もともと資産等がなく、基盤が脆弱であったことが大きな要因である。

村では、出資者として運営指導を行うとともに、例年、村の監査員によりエバーグリーンの経営状況等について確認いただいている。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

エバグリーンは村民のためになくしてはならない事業を推進しており、今後も経営継続が必要であると判断している。

業務も受託事業が主であり、経費もほとんどが人件費であるため、採用の計画的実行と経費積算処理を行うことにより採算性も確保でき安定した経営もできる。

今後の従業員の状況把握と専門家による経営（運営）指導により、健全な経営が可能であると考える。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

①有限会社エバーグリーン経営健全化検討会を設置し、今後3ヶ年の経営計画を策定、定期的な点検・評価を行う。

②会計士及び村監査員により点検を行っていただき、適正な運営のための助言・指導をいただく。

③上記検討、点検内容及び決算等運営状況について村議会に説明する。独立採算制を基本としているが、村民のための受託事業に支障をきたすような場合は、財政支援のための補助金交付も検討する。運営についての助言・指導等は随時行うものとする。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項 目	金額 (千円)		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	資産総額	14,281	15,604	18,033
	(うち現預金)	(14,002)	(13,161)	(11,349)
	(うち売上債権)	(1,925)	(1,925)	(5,956)
	(うち固定資産)	(279)	(418)	(713)
	負債総額	8,848	9,941	21,993
	純資産額	5,433	5,663	△ 3,960

損益計算書から	項 目	金額 (千円)		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	経常収益	55,414	53,948	59,471
	経常費用	59,872	53,637	69,014
	経常損益	△ 4,458	311	△ 9,543
	経常外損益	△ 81	△ 81	△ 81
	当期純損益	△ 4,539	230	△ 9,624